

伐採方法が皆伐の場合

伐採に係る森林の状況報告書

伐採後30日以内に提出すること。

令和〇年〇月〇日

萩市長 ○○○○ 様

伐採届の伐採者が報告すること。

報告者 住所 萩市江向〇〇番地
(伐採者) 氏名 ○○○○
連絡先 ○○○○-〇〇-〇〇〇〇

令和〇年〇月〇日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき、次のとおり伐採を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1 森林の所在場所

萩市大字〇〇字〇〇 〇〇番地

2 伐採の実施状況

伐採面積	0.80 ha (うち人工林0.80ha)		
伐採方法	主伐 (皆伐・択伐)・間伐	伐採率	100 %
	森林所有者(造林する者)の伐採跡地の確認の有無: 有 無		
作業委託先	〇〇森林組合		
伐採樹種	すぎ、ひのき	実際に伐採を開始した日、終了した日を記入すること。	
伐採齢	50(50~60)年生		
伐採の期間	令和年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日		
集材方法	集材路・架線・その他()		
集材の幅員・延長	幅員2.5m、延長200m		

3 備考

--

<注意事項>

- 1 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 2 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 3 面積は、少数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 4 伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 5 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 6 伐採齢欄には、伐採した森林が異齢林の場合においては、伐採した立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(〇~〇)」のように記載すること。

伐採方法が択伐の場合

伐採に係る森林の状況報告書

伐採後30日以内に提出すること。

令和〇年〇月〇日

萩市長 ○○○○ 様

伐採届の伐採者が報告すること。

報告者 住所 萩市江向〇〇番地
(伐採者) 氏名 ○○○○
連絡先 ○○○○-〇〇-〇〇〇〇

令和〇年〇月〇日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき、次のとおり伐採を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1 森林の所在場所

萩市大字〇〇字〇〇 〇〇番地

2 伐採の実施状況

伐採面積	0.80 ha (うち人工林0.80ha)		
伐採方法	主伐 (皆伐・ 択伐)・間伐	伐採率	30 %
	森林所有者(造林する者)の伐採跡地の確認の有無: 有 ・無		
作業委託先	〇〇森林組合		
伐採樹種	すぎ、ひのき	実際に伐採を開始した日、終了した日を記入すること。	
伐採齢	50(50~60)年生		
伐採の期間	令和年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日		
集材方法	集材路 ・架線・その他()		
集材の幅員・延長	幅員2.5m、延長200m		

3 備考

--

<注意事項>

- 1 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 2 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 3 面積は、少数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 4 伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 5 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 6 伐採齢欄には、伐採した森林が異齢林の場合においては、伐採した立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(〇~〇)」のように記載すること。

伐採後に森林以外の用に供する場合

伐採に係る森林の状況報告書

伐採後30日以内に提出すること。

令和〇年〇月〇日

萩市長 ○○○○ 様

伐採届の伐採者が報告すること。

報告者 住所 萩市江向〇〇番地
(伐採者) 氏名 ○○○○
連絡先 ○○○○-〇〇-〇〇〇〇

令和〇年〇月〇日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき、次のとおり伐採を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1 森林の所在場所

萩市大字〇〇字〇〇 〇〇番地

2 伐採の実施状況

伐採面積	0.80 ha (うち人工林0.80ha)		
伐採方法	主伐 (皆伐・択伐)・間伐	伐採率	100 %
	森林所有者(造林する者)の伐採跡地の確認の有無: 有・無		
作業委託先	〇〇森林組合		
伐採樹種	すぎ、ひのき		
伐採齢	50(50~60)年生		
伐採の期間	令和年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日		
集材方法	集材路・架線・その他()		
	集材の幅員・延長	幅員2.5m、延長200m	

実際に伐採を開始した日、終了した日を記入すること。

3 備考

具体的な用途、時期を記入すること。

宅地造成(転用予定時期: 令和5年8月)

<注意事項>

- 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 面積は、少数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 伐採齢欄には、伐採した森林が異齢林の場合においては、伐採した立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(〇~〇)」のように記載すること。

人工造林又は天然更新が図られず造林した場合

伐採後の造林に係る森林の状況報告書

造林後30日以内に提出すること。

令和〇年〇月〇日

萩市長 ○ ○ ○ ○

伐採届の造林者が報告すること。

報告者 住所 萩市土原〇〇番地
(造林者) 氏名 〇〇〇〇
連絡先 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

令和〇年〇月〇日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき、次のとおり伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1 森林の所在場所

萩市大字〇〇字〇〇 〇〇番地

2 伐採後の造林の実施状況

	造林の方法	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の造林本数	IF委託	鳥獣害対策
人工造林	植栽	R5.4.1~ R6.3.31	すぎ ひのき	0.40 ha 0.40 ha	1,200 本 1,200 本	〇〇森林組合	特になし
天然更新	—	—	—	— ha	— 本	—	—

3 備考

実際に実施した造林の内容を記入すること。

造林者は、当該土地を土地所有者から借りて植林した者に相違ありません。

報告者(造林者)が土地所有者と異なる場合は、両者の関係を記載すること。(届出書の留意事項を参照)

<注意事項>

- 1 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 2 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 3 造林の方法欄には、人工造林による場合には「植栽」又は「人工播種」の別を、天然更新による場合には「ぼう芽更新」又は「天然下種更新」の別を記載すること。
- 4 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 5 面積は、少数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 6 人工造林による場合において複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 7 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種(「その他広葉樹」でも可)を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には「別添のとおり」と記載することができる。
- 8 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。

造林方法が天然更新の場合

伐採後の造林に係る森林の状況報告書

天然更新後30日以内に提出すること。

令和〇年〇月〇日

萩市長 ○ ○ ○ ○

伐採届の造林者が報告すること。

報告者 住所 萩市土原〇〇番地
(造林者) 氏名 〇〇〇〇
連絡先 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

令和〇年〇月〇日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき、次のとおり伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1 森林の所在場所

萩市大字〇〇字〇〇 〇〇番地

2 伐採後の造林の実施状況

	造林の方法	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の造林本数	IF委託	鳥獣害対策
人工造林	—	—	—	— ha	— 本	—	—
天然更新	天然下種更新	R10.3.31	その他広葉樹	3.00 ha	— 本	—	特になし

3 備考

実際の天然更新の実施状況を記載すること。

<注意事項>

- 1 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 2 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 3 造林の方法欄には、人工造林による場合には「植栽」又は「人工播種」の別を、天然更新による場合には「ぼう芽更新」又は「天然下種更新」の別を記載すること。
- 4 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 5 面積は、少数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 6 人工造林による場合において複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 7 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種(「その他広葉樹」でも可)を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には「別添のとおり」と記載することができる。
- 8 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。